

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(奥山小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

地域とのつながりなどに配慮しながら奥山小学校教育の深化のために協議を進めていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 奥山小学校の経営、学校づくりについて、学校の経営方針の理解に努め課題についての共通認識の下に、課題解決に向けて取り組むことができた。
- 学校内の生活にもランドデザインが浸透しているが、地域ではまだ浸透していないので、地域でも何かできると良い。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校からの児童の実態説明や、実際の授業参観、各種学校行事を通して、学校支援のあり方をお互いに胸襟を開いて協議できたと思う。
- 地域の大切な子供たちのために、地域が応援団として実行すべき事、役割分担等、教育活動の充実・支援活動を考え熟議できた。
- 一年目の自分でも臆することなく話をすることができ、子供たちのため、良い話ができたとする。良い方向に向かっていると思う。
- 楽しいことにつながる行事を子供たちに提案させることも良い。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 協議2年目として、「奥山の子供を育てる会」や奥山小学校からの情報発信、各学校運営委員からの地域住民への働きかけは、それなりの効果は上げられたと考える。
- まだ十分な発信ができていないと感じる。保護者に対して、協議会委員の存在が伝わっていないように感じる。どういう立ち位置での感覚でいるのが正解なのか、分からないと感じた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 学校と保護者・地域住民が結びつきをさらに強め、目指す子ども像に迫ることができるように、協議会の強化をいっそう図っていきたい。
- 学校・家庭・地域の役割を明確にさせ、改善し、有効な会に。
- 来年度1回は教職員との熟議をし、課題やニーズをともにして子供たちや先生方の役に立つ会にしていきたい。
- 災害時の地域と学校との連携。
- 今よりもっと開いた奥山小学校へ。
(小さな学校なので、他の学校ではできないような取組を行い、色々なメディアに紹介されればと思う。)
- 奥山小学校は地域の方たちと十分に接点を持って活動できていると思うが、まだまだ地域の方たちに活動内容が知られていないところが多く感じるので、情報発信の仕方をもう少し考えていきたい。